

Course Title 科目名	[Special Topic] Cultural Sociology A [特殊講義] 文化社会学A			Instructor 担当者	ITO, Miku 伊東 未来		
Semester 学期	Spring	Language of Instruction 使用言語	JAP 日	Credits 単位	2	hrs/wks 時間数/週	2

**【Course Objectives: 授業の到達目標】**

この講義では、人間が文化や社会をどのように捉えてきたのかを、文化人類学や社会学、現代思想などの学説史をたどり、文化や社会について再考することを目標とする。

**【Course Summary: 授業の概要】**

人間が文化や社会をどのように捉えてきたのかを、文化人類学や社会学、現代思想などの学説史をたどり、文化や社会について再考する。

**【Study Required outside Class (Preparation etc): 事前・事後学習】**

講義では時事的なトピックも取り上げる。日頃から新聞やテレビ、ネットなどの情報を意識的に見聞きして、授業で取り上げた内容を自分の問題関心と結び付けて考えておくこと。また、次回の内容に関する簡単な課題を出し、授業でディスカッションすることもある。

**【Class Outline: 授業計画(各回の授業内容)】**

Session 1	ガイダンスー授業の進め方の議論と合意 Guidance
Session 2	「文化」「社会」の用語法 Terminology of <i>Culture</i> and <i>Society</i>
Session 3	人種と文化と本質主義 Concept of Race and Essentialism
Session 4	文化の「高低」と「大衆」 <i>High/Low Culture</i> and <i>Mass Culture</i>
Session 5	社会と全体主義 Society and Totalitarianism
Session 6	国家とは何かー想像の共同体 Nation State - the Imagined Community
Session 7	国家と移動ーパスポートの発明 Nation and Human Immigration - the Invention of the Passport
Session 8	誰が文化を語る・代表することができるのか Who can represent the culture?
Session 9	洋の東西ーオリエンタリズムから考える Orientalism
Session 10	文化の戦略的本質主義 Strategic Essentialism
Session 11	創られた伝統 The Invention of Tradition
Session 12	世界システム World-Systems Theory
Session 13	格差・階層・相対的貧困 Society with Inequality
Session 14	社会のエートス ethos of Society

**【Required Textbooks and Course Materials: 教科書(購入必須)】**

特になし

**【Recommended Textbooks and Course Materials: 参考図書】**

エドワード・サイード『オリエンタリズム』上下、平凡社ライブラリー、1993年  
竹沢尚一郎『社会とは何かーシステムからプロセスへ』中公新書、2010年  
斎藤 幸平『人新世の「資本論」』集英社新書、2020年 など。  
その他、各回の内容について理解を深める助けとなる参考書籍・論文・新聞記事・映画などの情報を講義中に適宜示す。

**【Grading Criteria: 成績評価の方法】**

平常点(50%)、レポート(50%)にもとづいて総合的に評価する。

**【Note: 履修上の注意】**

授業は日本語でおこなう。履修者はN2以上の日本語レベルを有する必要がある。